投資家の皆様へ

イギリスの EU 離脱による当社の業績への影響に関する質問を多数頂いております。
本資料は、その Q&A を纏めたものです。

イギリスの EU 離脱に関するマネジメント・メッセージ

航空機産業に代表される先端技術分野で将来においてもイギリスの優位性は当面揺るがず、イギリスは製造業や工作機械の重要な市場であり続けるであろう。独日連合会社として、イギリスとドイツの技術的・経済的架け橋をする当社の役割が一層高まっていくものと考えている。

以下、Q&A

Q：イギリスの EU からの離脱の影響は？
A：全社売上に対するイギリス市場の割合は 3%程度にすぎず、全社における受注・売上の直接の影響額は大きくありません。また、イギリスは主としてドイツ、日本から製品を輸入し販売する拠点であり、生産及び輸出拠点ではないため、今後の経済活動においても影響は軽微であると考えております。

Q：欧州の売上比率は？欧州向けの今後の需要見通しは？
A：欧州向けの売上比率は 51%となっております。年初から 6 月までは欧州向けの受注はほぼ前年並みを維持しており、日本及びアジア市場における受注が減少する中、米国とともに当社の全社受注を下支えする役目を果たして参りました。今後の需要つき、確たる見通しはコメント致しかねますが、自動車、航空機、機械産業などからの生産性向上に向けた投資案件を多数頂いており、今後も需要は堅調に推移するものと期待しております。

Q：円高による影響をどのように考えているか？
A：当社の生産比率は、日本が 40%程度、ドイツ、イタリアを中心とする欧州が 40%程度、その他北米、中国となっております。今後、円高傾向が継続するのであれば、欧州、北米、中国の生産を拡大し、為替の影響を軽減して行く予定です。また、グローバルでの競争相手は日系企業であり、特に欧州生産品拡大により日系企業との競争力を高めることが可能であると考えております。ドイツ企業との協業により、各国の経済変動、為替変動に対する経営の選択肢は広がっており、従来に比べ経営の安定性は格段に高まっているものと考えております。

Q：為替変動により今期(2016 年 12 月期)業績への影響は？
A：為替変動による影響は、ドイツ連結会社のユーロを円に換算によるものが大きいです。ドイツ連結会社の売上は 22-23 億ユーロであり、対ユーロに対する円高は換算レート時の目減り要因となります。一方、利益に関しては、既に公表している年間営業利益 250 億円の達成に向けて生産性改善、経費削減などを進めております。

以上